全書芸

4

全日本書芸文化院

通巻872号

令和五年三月十五日発行（毎月一回十五日発行　第七十三巻四号）

令和五年三月十五日発行（毎月一回十五日発行　第七十三巻四号）

全書芸4月号　昇段級試験課題

二〇二三年

4月号締切り＝条幅4月5日・半紙4月21日　競書成績発表＝6月号（5月15日発行号）

2023年 一般部 昇段昇級試験 ＝受験要項＝

※出品票にバーコードシールが必要です

規定

●受験資格

＜購読会員のみ＞

○一級以上の会員は条幅部で受験のこと。

○二段以上の会員は月例条幅年間八回以上出品。

○師範部受験希望者は全書芸展の出品を要す。書歴用紙に出品証を貼付。

●月例条幅出品

臨書、倣書又は創作で昨年七月出品～本年六月出品で年間八回以上。

＜以下加算可＞

書初出品：一回分

全書芸展出品：二回分

書道講習会

二日参加：二回分

一日参加：一回分

●作品

下記課題の作品を要します。

●その他

・全書芸展出品証は三月下旬送付。

・必ず書類完備の上出品ください。

・各部共、用紙は白・無地に限る。

・師範部合格者は認定料二五、〇〇〇円を要します。

・師範受験の書歴用紙は、返信用封筒に切手貼付、宛先記入の上、ご請求ください。

	かな部			漢字部		
部	半紙部	条幅部	師範部	半紙部	条幅部	師範部
出品資格	二級以下のものが受験できる	三段以下何級でも受験できる	準師範者（三段で飛級受験者）	二級以下のものが受験できる	三段以下何級でも受験できる	準師範者（三段で飛級受験者）
出品作品	臨書　創作	臨書　創作	臨書　創作　創作	臨書　創作　創作	臨書　創作　創作	臨書　創作　創作
書体			B	草　行　楷	草　行　楷	隷　草　行　楷
課題		○夕さればいにしへ人の思ほゆる杉はしづくを落しそめけり（中村憲吉） ○本阿弥切＝今年度四、五、六、七月号古筆かな条幅手本部分の中からに限る。	○金沢本万葉集＝昨年十二、一、二、三月号古筆かな条幅手本部分からに限る。	○庶幾中庸 ○庶幾中庸 ○智永千字文＝庶幾中庸	○小窓半夜青燈雨　幽樹一庭黄葉秋（眞山民） ○右の語句を行書で書く。 ○智永千字文＝四、五、六、七月号古碑法帖掲載部分の中からに限る。 ※字数随意。月をまたいでの語句の選定は不可です。	○一聲山鳥曙雲外　萬點水螢秋草中（許渾） ○右の語句を行書で書く。 ○智永千字文＝四、五、六、七月号古碑法帖掲載部分の中からに限る。 ※字数随意。月をまたいでの語句の選定は不可です。 ○曹全碑＝昨年十二、一、二、三月号古碑法帖掲載部分からに限る。 ※字数随意。月をまたいでの語句の選定は不可です。
型式・枚数		○半切たて書　一枚	○半切たて書　一枚	○半切たて書　一枚 ○右に同じ　一枚 ○右に同じ　一枚	○半切たて書　一枚 ○半切たて書　一枚 ○半切たて書　一枚	○半切たて書　一枚 ○半切たて書　一枚 ○半切たて書　一枚 ○半切たて書　一枚
提出方法と受験料		○各体一枚計二枚をクリップでとじる。出品票に現段級を明記する。 ○受験料五、〇〇〇円を振替入金のこと。	○各体一枚計二枚をクリップでとじる。出品票に現段級又は新規を明記する。 ○受験料八、〇〇〇円を振替入金のこと。	○各体一枚計三枚をクリップでとじる。規定の書歴用紙に記入して添付する。 ○受験料八、〇〇〇円を振替入金のこと。	○各体一枚計三枚をクリップでとじる。出品票に現段級を明記する。 ○受験料五、〇〇〇円を振替入金のこと。	○各体一枚計四枚をクリップでとじる。規定の書歴用紙に記入して添付する。 ○受験料八、〇〇〇円を振替入金のこと。

現在一級の方は半紙部では受験出来ません。条幅部で受験のこと。

○本阿弥切＝わが君は千代に八千代にさざれ石の巌となりて苔のむすまで

○みづうみに雲も匂ひてうつろへば恋しきものの限りしられず（斎藤　史）

○臨書は半紙たて四行一枚

○半紙たて書　一枚

●印は必ず漢字

その他は漢字、ひらがな、変体がな

ちらし自由

○半切たて書　一枚

●印は必ず漢字

その他は漢字、ひらがな、変体がな

自由

○半切たて書　一枚

○半切たて書　一枚

AB共ともに各一枚

●印は必ず漢字

その他は漢字、ひらがな、変体がな

自由

○半切たて書　一枚

○短歌＝吹きのぼる夕川風に小簾巻けば雲・居をかけて螢とぶなり（加納緒平）

○俳句＝松風に誘はれて鳴く蟬・一つ（日野草城）

◎昇段級試験締切り 7月21日厳守 ◎送り先 〒101－8715 東京都千代田区神田局私書箱37号 全日本書芸文化院**昇試係**

漢字	段	級	かな	段	級	姓名	

全書芸展

金石文字之美

伊藤　滋

①瓦当文（中国古代瓦に使用された文字）

古代に金属や碑石等に刻された日本や中国の文字を、書の世界では手本にすることが行われてきました。最古の漢字とされる甲骨文字から始まり、碑石を始めとしていろいろなものに文字が使用されてきました。今回、このコーナーでは、そうした古代の金石文字の中から、筆者の主観的な視点で、魅力あると考える金石文字について紹介します。第一回は、古代中国の宮殿建築に使用されていた屋根瓦の文字です。

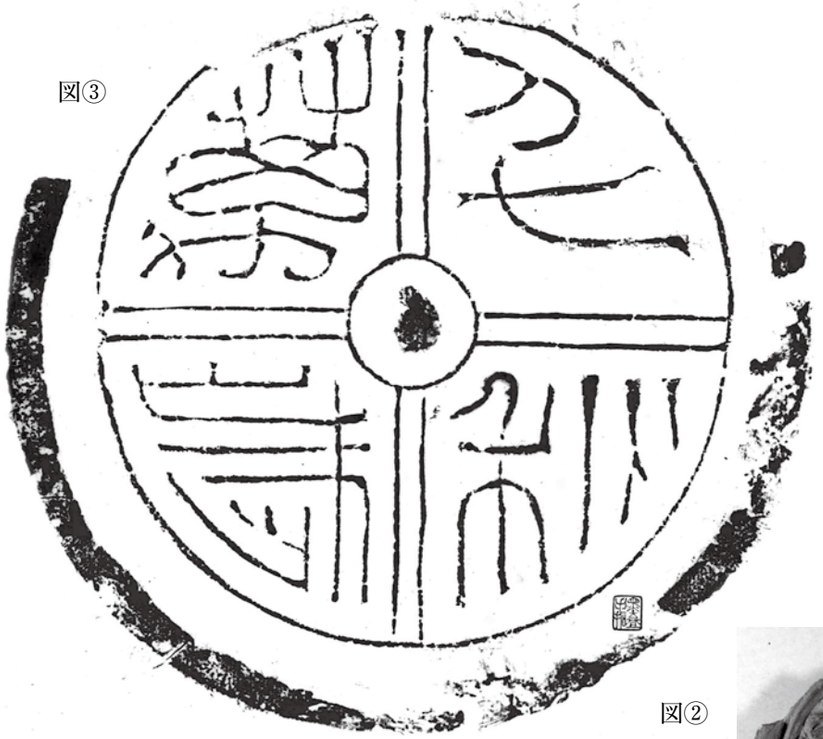
『千秋万歳』瓦・漢時代

『千秋万歳』瓦（図①）は、漢時代に実際に使用されていたものですが、建物が滅び、屋根瓦が地中に埋まり、近年出土したものです。古代の瓦の様式も、日本の奈良などの古い寺院の屋根瓦も様式は同じです。こうした軒先瓦の先端（図②）に『千秋万歳』の文字瓦が使用されていたと考えられます。この瓦の大きさは、円の直径が23㎝ほどです。この円を四等分して、縦横の界線で区切り、円の四分の一の扇形の中に「千秋万歳」の四字を布置しています図③。文字の書体は、楷書とは異なり、古い篆書体を使用しています。漢時代は、碑文などには、隷書体が多く使用されていますが、篆書体も併用されていたようです。篆書体の方が、字形を特殊な形の中に布置するのには、隷書体よりも扱いに便利だったと考えられます。「千秋」の二字は、わかり易いですが、「萬」字は、旧字体を使用しています。「歳」などは、書体字典で字形や篆書の文字構造を確認されてください。この拓し、写し取られた文字を見ると、篆書の構造の文字を、決められた紙面の中に、線を曲げたり、長くしたり、偏と旁の大きさを変えたりしています。今から二千年近く前の瓦職人の生み出した文字造形と考えられます。

図①

図②

図③



【伊藤滋プロフィール】
・書斎名は木鶏室・一九四六年生まれ
・金石碑法帖研究・岐阜女子大特任教授　現在

令和五年度　編集担当ご挨拶

○この立場での編集は初めてで聊か心配。とはいえ、半年前から準備して来ました。編集委員協力の下、より良い誌面にして行きたいと思います。役員・支部長の先生方はじめ、全員皆様方のご支援をよろしくお願い致します。　**金子　閣亭**

○三回目の編集となり、一般誌を担当致します。会員の皆様のお役に立つ誌面となる様、微力を尽くして取り組む所存です。諸先生、会員の皆様、事務局の皆様のご教示、ご支援の程をお願い申し上げます。

嶋口　一葉

○三度目のかな担当です。金子編集長のもと、常に初心の気持ちを忘れずに取り組みたいと思います。諸先生方、事務局の皆様、どうぞよろしくお願い致します。　**大野　幸子**

○二度目の編集となり学生版中学部を担当いたします。手書きの文字のあたたかさに触れ、楽しく向き合っていただける誌面を目指します。
諸先生、会員、関係の皆様のお力添えをいただきたく、どうぞよろしくお願い致します。　**山口　萱雨**

○学生版小学部を担当いたします。歴史ある全書芸の編集に関わる機会をいただきありがたく思うのと同時に責任の重さを感じております。力不足の点も多々ありますが、皆様方にご教示いただきながら精進いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和五年三月吉日

鈴木　幸風

令和五年度編集担当（写真右から）

鈴木　幸風
山口　萱雨
（編集長）金子　閣亭
大野　幸子
嶋口　一葉

編集後記

○昇段昇級試験の課題が発表されました。各問題を良く確かめて、正確に表現してみましょう。
○地方及び東京での書道講習会の内容も発表されました。東京では今までのⅠ部が残念ながら無くなりました。それぞれご確認の上、お申込み下さい。
○表紙の図版は「権量銘」です。秦の始皇帝が度量衡の統一をした時の桝に刻されていたものです。これも統一された小篆です。
○表２は「金石文字之美」と題して拓本研究家として高名な伊藤　滋先生に執筆を依頼したところです。書道の勉強には欠かせない「拓本」のいろいろな話しが楽しみです。
○一般誌の今年度の企画は「書道を普段の字にいかす」と題し、漢字・かなそれぞれの読者の学書の糧になるようにしました。また『学書の友』では「古典を深める」と題し、ポピュラーな古典の解説をします。
○ペン全書芸誌では『名筆を習う』・『手紙文』の古典と実用書の双方を学べ、両部門に出品できるようになりました。　（閣亭）

令和五年三月十日　印刷
令和五年三月十五日　発行
（税込・送料一〇〇円）
九〇〇円
代表　吉田　菁風
編集者　金子閣亭・嶋口一葉
大野幸子・山口萱雨
鈴木幸風
発行者　岩本　宗
印刷　株式会社　カワイ
全日本書芸文化院
東京都千代田区神田錦町一－一〇－一
振替　〇〇一五〇－七－二三五一
電話　〇三（三二九四）三五五一
ＦＡＸ　〇三（三二九一）一二三八
https://www.z-shogei.co.jp
info@z-shogei.co.jp

※郵便は〒101－8715 神田局私書箱37号へ　宅配便は〒101－0054 千代田区神田錦町1－10－1　サクラビル1Fへご送付お願い致します。
※お振込口座は上記郵便振替、または三菱ＵＦＪ銀行（ホームページ【お支払い方法】参照）にて会員番号を明記の上ご入金をお願い致します。
■全書芸合本ファイルの販売を終了いたしました